

# 「戦争国家」づくりと一体

放送法の「政治的公平」を巡る解釈変更は、安倍首相（当時）が執着し、官邸が介入して行われました。

公表された行政文書は安倍政権下の2014年から2

年間、官邸が総務省に圧力をかけた記録です。国論を二分していた安保法制への批判的意見を抑え込み、「戦争する国づくり」と一体で行われました。**磯崎氏は実行役**

放送法の「政治的公平」の解釈は、「放送局の番組全体で判断」から「一つの番組」でも判断できる、に変更されました。

その実行役になったのが、磯崎陽輔首相補佐官。解釈変更を抵抗する総務省に「ここで抵抗しても何のためにもな

## 「政治的公平」をめぐる発言（肩書は当時）



磯崎陽輔  
首相補佐官

ここで抵抗しても何のためにもならない。  
(2014年12月25日)  
俺の顔をつぶすようなことになれば、ただじゃあ済まないぞ。首が飛ぶぞ。  
(15年2月24日)



安倍晋三  
首相

現在の放送番組にはおかしいものもあり、こうした現状は正すべき。全部が全部とは言わないが、正すべきは正す。(3月5日)

※総務省「行政文書」から

らない」などと脅迫しました。

## 関係者の国会招致、真相解明を

解釈変更を指示したのは、変更に関与した安倍首相です。「この件は俺と総理が二人で決める話」(2015年2月24日)という磯崎氏の発言が端的に示しています。

その後、政権の横暴に批判的なニュースキャスターの降板が相次ぎ、テレビの政権監視の力が大幅に失われました。これは今にも続いています。解釈変更の撤回、関係者の国会招致、真相解明が必要です。

折  
り  
目

# 4/9 大軍拡・大增税 NO!の声あげよう

5年間で43兆円もの大軍拡—反戦・平和を貫き101年、共産党を伸ばしてNo!の声を。**日本共産党**

## 他国に攻めこむ

「敵基地攻撃能力」の名で導入されるのは、他国の領土奥深くまで攻め込む長射程ミサイル。「専守防衛」を投げ捨て、軍事大国に。憲法9条を踏みにじる暴挙は許しません。

極超音速ミサイル  
射程3000キロ



12式地对艦誘導弾  
(能力向上型)  
射程1000キロ超



超高速滑空弾  
射程2000キロ



## 先制攻撃

自衛隊が米軍の指揮の下に参加する「米統合防空ミサイル防衛」。先制攻撃が基本方針。反撃を招き日本が廃墟に。

## くらし犠牲 増分5兆円あれば医療費負担ゼロに

軍事費をムリヤリ5兆円ふやし、5兆円あれば医療費の窓口負担が2倍にしたら? 国民の命とくらしゼロに—「軍事栄えて、民滅ぶが犠牲になってしまいます。逆に 国」の愚は繰り返させません。

## 戦争の心配のないアジアへ ASEANと協力

東南アジア諸国連合(ASEAN) 日本共産党はASEANと協力は、互いに友好協力条約を結び、し、排除でなく地域の全ての国を徹底した対話で東南アジアを平和包み込む平和の枠組みづくりを提案しています。